

(19)日本国特許庁(JP)

(12)特許公報(B2)

(11)特許番号
特許第7626860号
(P7626860)

(45)発行日 令和7年2月4日(2025.2.4)

(24)登録日 令和7年1月27日(2025.1.27)

(51)国際特許分類

F I

B 6 5 D 85/10 (2006.01)

B 6 5 D 85/10

B 6 5 D 75/62 (2006.01)

B 6 5 D 75/62

Z

請求項の数 9 (全13頁)

(21)出願番号	特願2023-538729(P2023-538729)	(73)特許権者	392003937
(86)(22)出願日	令和3年12月9日(2021.12.9)		ジー・デー ソチエタ ペル アツィオニ
(65)公表番号	特表2024-502765(P2024-502765 A)		G . D S O C I E T A P E R A Z I O N I
(43)公表日	令和6年1月23日(2024.1.23)		イタリア国, ポローニャ 4 0 1 3 3 ,
(86)国際出願番号	PCT/IB2021/061489		ピア パッティンダルノ 9 1
(87)国際公開番号	WO2022/136997	(74)代理人	100099759
(87)国際公開日	令和4年6月30日(2022.6.30)		弁理士 青木 篤
審査請求日	令和5年12月21日(2023.12.21)	(74)代理人	100123582
(31)優先権主張番号	102020000032231		弁理士 三橋 真二
(32)優先日	令和2年12月23日(2020.12.23)	(74)代理人	100092624
(33)優先権主張国・地域又は機関	イタリア(IT)		弁理士 鶴田 準一
		(74)代理人	100114018
			弁理士 南山 知広
		(74)代理人	100153729

最終頁に続く

(54)【発明の名称】 弱体化された上包を備えた喫煙商品の箱

(57)【特許請求の範囲】

【請求項 1】

喫煙商品の箱（１）であって、
外側容器（２）と、
上包（１４）であって、前記外側容器（２）を囲んで包み、該外側容器（２）の周りに折り畳まれ、少なくとも１つのヒートシールによって安定化された包装用シート（１５）からなる上包（１４）と、
開裂バンド（１６）であって、前記上包（１４）に接続され、該上包（１４）を、開裂バンド（１６）に接続されていない第１の部分（１７）と、開裂バンド（１６）と一体である第２の部分（１８）とに分割するために引っ張られるように設計された、開裂バンド（１６）と、を備え、
前記包装用シート（１５）は、２つの対向するフラップ（２０、２１）を有し、該２つの対向するフラップ（２０、２１）は、重なり合い、互いにヒートシールされて、縦方向シール（２２）を形成し、
前記上包（１４）の第１の部分（１７）は、前記上包（１４）を引き裂くのを助ける少なくとも１つの弱体化線（２６）を有し、該弱体化線（２６）は、前記第１の部分（１７）の縁部の近くで始まり、前記縦方向シール（２２）の近くに配置される、喫煙商品の箱（１）において、
前記縦方向シール（２２）は、内側において、中間領域（２７）を有し、該中間領域（２７）は、前記２つの対向するフラップ（２０、２１）間のシールから解放され、内側に

10

20

において前記弱体化線（２６）を含み、前記２つの対向するフラップ（２０、２１）が互いにシールされる接合部分によって完全に取り囲まれることを特徴とする、喫煙商品の箱（１）。

【請求項２】

前記中間領域（２７）は横方向の延長部よりも大きい縦方向延長部を有する、請求項１に記載の喫煙商品の箱（１）。

【請求項３】

前記中間領域（２７）は前記弱体化線（２６）の縦方向延長部よりも大きい縦方向延長部を有する、請求項１又は２に記載の喫煙商品の箱（１）。

【請求項４】

前記弱体化線（２６）は前記外側容器（２）の縦方向角部に平行である、請求項１、２、又は３に記載の喫煙商品の箱（１）。

【請求項５】

前記弱体化線（２６）は前記包装用シート（１５）を完全に貫通する少なくとも１つの貫通切断部からなる、請求項１～４の何れか一項に記載の喫煙商品の箱（１）。

【請求項６】

前記弱体化線（２６）は前記包装用シート（１５）の前記２つの対向するフラップ（２０、２１）の一方のみに影響を及ぼす、請求項５に記載の喫煙商品の箱（１）。

【請求項７】

請求項１～６の何れか一項に記載の喫煙商品の箱（１）であって、
蓋（４）が設けられ、該蓋（４）は、ヒンジ（５）に沿って外側容器（２）にヒンジ連結され、上壁（１０）と、前壁（１１）と、後壁（１２）と、２つの側壁（１３）とを有し、

前記蓋（４）は、底部において前記前壁（１１）を画定する前縁（２４）と、前記底部において側壁（１３）をそれぞれ画定し、前記前縁（２４）の端部を前記ヒンジ（５）の端部に接続する２つの側縁（２５）とを有し、

前記開裂バンド（１６）は、前記蓋（４）の前記上壁（１０）と前記蓋（４）の前記前縁（２４）との間に配置され、前記上包（１４）の第２の部分（１８）は前記蓋（４）より小さく、前記上包（１４）の前記第１の部分（１７）は前記蓋（４）を部分的に覆う、喫煙商品の箱（１）。

【請求項８】

前記開裂バンド（１６）は、前記蓋（４）の前記前縁（２４）と重ならないように、前記蓋（４）の前記前縁（２４）よりも高く配置されている、請求項７に記載の喫煙商品の箱（１）。

【請求項９】

前記開裂バンド（１６）は、前記蓋（４）の前記前縁（２４）から０ｍｍ以外の距離（Ｄ）、好ましくは少なくとも２ｍｍに等しい距離（Ｄ）に配置されている、請求項７又は８に記載の喫煙商品の箱（１）。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【０００１】

（関連出願の相互参照）

本特許出願は２０２０年１２月２３日に出願されたイタリア特許出願第１０２０２０００００３２２３１号明細書の優先権を主張し、その開示全体が参照により本明細書に組み込まれる。

本発明は上包を備えた喫煙商品の箱に関する。

本発明は紙巻きたばこ一式を含む硬質紙巻きたばこ箱の製造において有利な用途を見出し、その結果、一般性を損なうことなく、以下の説明を明示的に参照する。

【背景技術】

【０００２】

10

20

30

40

50

硬質紙巻きたばこ箱は、金属紙の包装に包まれた紙巻きたばこ一式からなる軟質包装物と、軟質包装物を収容する硬質外側容器と、を有する。

【0003】

硬質紙巻きたばこ箱は、一般に、外部環境からたばこを保護する（特に、たばこの正しい湿度を保つ）機能を有する密封された上包（又は空気に対して不透明性であるもの）を備える。シールされた上包は、外側容器の周囲を取り囲み、透明なプラスチック材料（典型的にはセロファン又はポリプロピレン）の包装用シートからなり、使用者によって把持され、引っ張られて、2つの上包に分割（切断）され、したがって、上包の単純かつ迅速な除去を少なくとも部分的に可能にする、開裂バンドを備える。

【0004】

いくつかの硬質紙巻きたばこ箱では、例えば、側部にヒンジ式の蓋を備えた硬質紙巻きたばこ箱、摺動開口部を有する硬質紙巻きたばこ箱、いわゆる「ウォレット」硬質紙巻きたばこ箱のように、紙巻きたばこを取り出すことができるように、密封された上包を常に完全に除去する必要がある。しかしながら、（開裂バンドに直接接続された）上包の上部を除去することは非常に容易であるが、対照的に、（開裂バンドに接続されていない）上包の下部を除去することは特に、（上包に特に心地よい外観を与える）熱収縮処理を使用して上包が外側容器の周りに十分に延伸されたときには、より困難かつ複雑である。

【0005】

上包の完全な除去を容易にするために、例えば、特許文献1に記載されているように、包装用シートに対して開裂バンドを傾斜させて、開裂バンドがたばこ箱の対角線に沿って配置されるようにすることが提案されており、いずれの場合にも、この解決策は開裂バンド適用ユニットに著しい変更を伴い、したがって、非常に高い装置コストを伴う。

【0006】

上包の完全な除去を可能にするために、例えば特許文献2に記載されているように、上包の下部に、上包の上部の除去（開裂バンドを引っ張ること）後に上包の下部の破断を誘発する弱体化切り欠きを生成することが提案され、いずれの場合も、これらの弱体化切り欠きは、上包を構成するプラスチック材料の完全性を損ない、外側と比較してシールを損ない、したがって、上包の外部物質の保護機能を少なくとも部分的に排除する。

【0007】

上包の完全な除去を可能にするために、例えば特許文献3に記載されているように、接着ラベルからなる裂傷要素を上包に適用することが提案され、いずれの場合も、この解決策は紙巻きたばこ箱（ラベル）に新しい材料を追加する必要性、及びラベルを包装機に適用する新しいアセンブリを追加する必要性の両方のために、特に高価である。

【0008】

上包の完全な除去を容易にするために、例えば、特許文献4に記載されているように、主開裂バンドから始めて上包まで横方向に延在する追加の二次開裂バンドを適用することが提案されている。いずれの場合にも、この解決策は開裂バンド適用ユニットに著しい変更を伴い、したがって、非常に高い装置コストを伴う。

【0009】

特許文献5は、開裂バンドと、この開裂バンドに隣接して配置され、小さな開裂バンドに垂直に配置された少なくとも1つの弱体化線とを有するシールされた上包を記載している。

【先行技術文献】

【特許文献】

【0010】

【文献】欧州特許出願公開第0601583（A1）号明細書

【文献】欧州特許出願公開第1839845（A1）号明細書

【文献】国際公開第2014/132171（A1）号

【文献】国際公開第2015/145304（A1）号

【文献】欧州特許出願公開第1666376（A1）号明細書

10

20

30

40

50

【発明の概要】**【課題を解決するための手段】****【0011】**

本発明の目的は上包を備えたたばこ箱を提供することであり、このたばこ箱は上包全体の容易な取り外しを可能にし、同時に、製造が容易かつ経済的である。

【0012】

本発明によれば、添付の特許請求の範囲に記載されているように、上包が設けられたヒンジ式蓋を備えたたばこ箱が提供される。

特許請求の範囲は、本明細書の一体的部分を形成する本発明の一実施態様を記載する。

【図面の簡単な説明】

10

【0013】

ここで、本発明を、そのいくつかの非限定的な実施形態を示す添付の図面を参照して説明する。

【図1 - 2】図1及び図2は、透明な上包が設けられたヒンジ式蓋を備えた硬質紙巻きたばこ箱の、それぞれ正面及び背面の2つの斜視図である。

【図3 - 4】図3及び図4は、透明な上包の除去後であって、依然として閉じた構成にある、図1及び図2におけるたばこ箱の、それぞれ、前面及び背面の2つの斜視図である。

【図5 - 6】図5及び図6は、図1及び図2におけるたばこ箱の透明上包の、それぞれ正面及び箱の2つの分解斜視図である。

【図7】図7は、図1及び図2におけるたばこ箱の透明な上包を製造するために使用される包装用シートの平面図である。

20

【図8】図8は、図7における包装用シートの変形例の平面図である。

【図9 - 10】図9及び図10は、透明上包の上部の除去前及除去後の、それぞれ図1及び図2におけるたばこ箱の2つの側面図である。

【図11】図11は、透明上包が設けられた摺動開口部を有する硬質紙巻きたばこ箱の正面斜視図である。

【図12】図12は、図11のたばこ箱の、透明上包の除去後の、開いた構成における、正面斜視図である。

【図13 - 14】図13及び図14は、それぞれ、図11及び図12におけるたばこ箱の、透明上包の上部の除去前及び除去後の2つの側面図である。

30

【発明を実施するための形態】**【0014】**

図1及び図2において、参照番号1は、全体として、ヒンジ式蓋を有する硬質紙巻きたばこ箱を示す。たばこ箱1は、硬質の厚紙又はカード及びカップ形状からなる外側容器2と、外側容器2内に収容された軟質包装物3（図12に部分的に図示）とを備え、たばこ一子を囲む。

【0015】

なお、以下のたばこ箱1の説明において、「低い」、「高い」、「下側」及び「上側」等の用語を用いて、たばこ箱の部分の位置を示し、箱が、主延長方向、すなわち縦方向が垂直方向と一致するように配置されていると仮定すると、下壁と上壁はそれぞれ「低い位置」と「高い位置」に配置され、横方向は縦方向と直交する

40

【0016】

外側容器2は、開いた上端を有し、蓋4を備え、蓋はカップ形状であり、外側容器2に対して、開いた上端の開いた位置（図示せず）と閉じた位置（図1及び2に図示）との間で回転するために、ヒンジ5（図2に図示）に沿って外側容器2にヒンジ結合される。

【0017】

図3及び図4によりよく示されるように、外側容器2は基本的に平行六面体の、垂直な主延伸方向に従って配向された長方形の形状を有し、カップ形状であり、開口上端と、開口上端とは反対側の下壁6と、互いに平行かつ対向する前壁7及び後壁8（ヒンジ5が配置される）と、互いに平行かつ対向する2つの側壁9とを有する。外側容器2の前壁7、

50

後壁 8、及び側壁 9 の間には 4 つの縦方向角部が画定され、一方、壁 7、8、及び 9 と外側容器 2 の下壁 6 の間には 4 つの横方向角部が画定される。

【 0 0 1 8 】

蓋 4 は、基本的に平行六面体、長方形の形状を有し、カップ状であり、開いた下端（蓋 4 が閉位置にあるときに外側容器 2 の開いた上端に面する）、上壁 1 0（蓋 4 が閉位置にあるときに外側容器 2 の下壁 6 と平行かつ反対側にある）、前壁 1 1（蓋 4 が閉位置にあるときに外側容器 2 の前壁 7 と平行かつ位置合わせされる）、後壁 1 2（蓋 4 が閉位置にあるときに外側容器 2 の後壁 8 と平行かつ位置合わせされ、ヒンジ 5 に沿って外側容器 2 の後壁 8 にヒンジ連結される）、及び互いに平行かつ反対側にある 2 つの側壁 1 3（蓋 4 が閉位置にあるときに外側容器 2 の側壁 9 と平行かつ位置合わせされ、特に同一平面上にあり、隣接する）を有する。蓋 4 の前壁 1 1、後壁 1 2、及び側壁 1 3 の間には 4 つの縦方向角部が画定され、一方、壁 1 1、1 2、及び 1 3 と蓋 4 の上壁 1 0 の間には 4 つの横方向角部が画定される。蓋 4 の縦方向角部及び横断方向角部は蓋 4 が閉位置にあるとき、外側容器 2 の対応する縦方向角部及び横断方向角部と平行であり、かつそれと位置合わせされる。

10

【 0 0 1 9 】

図 1 及び図 2 に示されるものによれば、たばこ箱 1 は外側容器 2 を囲む上包 1 4 を備え、蓋 4（蓋 4 は外側容器 2 の一体部分である）は、外側容器 2 及び蓋 4 の周りに折り畳まれた透明プラスチック材料（典型的にはセロファン又はポリプロピレン）の包装用シート 1 5（図 7 に示される）からなり、それは、上包 1 4 を 2 つの部分 1 7 及び 1 8 に分割（切断）するために、したがって、上包 1 4 の簡単かつ迅速な除去を可能にするために、ユーザによって把持され、引っ張られる開裂バンド 1 6 を備える。特に、図 5 及び図 6 に示すように、開裂バンド 1 6 は、上包 1 4 を下部 1 7（開裂バンド 1 6 から完全に切り離されている、すなわち開裂バンド 1 6 との接続点を有していない）と、上部 1 8（開裂バンド 1 6 に接続されている、すなわち開裂バンド 1 6 と一体である）とに分割（切断）する。

20

【 0 0 2 0 】

把持部を可能にするために、開裂バンド 1 6 は、包装用シート 1 5 がプラスチック製包装物材料の連続バンドによって分離されるとき（図 7 及び 8 に明確に示されるように）、上包 1 4 によって完全に分離され、持ち上げられ、包装用シート 1 5 によって成形された適切な切断部を通して形成される、開始端 1 9 を有する。

30

【 0 0 2 1 】

包装用シート 1 5 は外側容器 2 及び蓋 4 の周りに折り畳まれ、したがって、ヒートシールを使用して、すなわち、包装用シート 1 5 のヒートシール重なり部分を介して接合することによって安定化される。図 5 及び図 6 に示されるものによれば、包装用シート 1 5 は互いに重なり合ってヒートシールされて、上包 1 4 を安定化させるのに寄与する縦方向シール 2 2 を形成する 2 つの対向するフラップ 2 0 及び 2 1（図 7 に別々に示される）を有し、加えて、上包 1 4 は上包 1 4 の対向する端部に配置され、縦方向シール 2 2 に対して垂直に延在し、上包 1 4 を安定化させるのに寄与する 2 つの追加の横方向シール 2 3（図 5 及び図 6 に示される）を備える。

【 0 0 2 2 】

40

図 1 ～ 図 4 に示されるものによれば、蓋 4 は底部において前壁 1 1 を画定する前縁 2 4 と、底部において側壁 1 3 を画定し、前縁 2 4 の一端をヒンジ 5 の一端に接続する 2 つの側縁 2 5 とを有する。蓋 4 の前縁 2 4（蓋 4 が閉じられているとき）は外側容器 2 の前縁に載置され、同様に、蓋 4 の側縁 2 5（蓋 4 が閉じられているとき）は、外側容器 2 の対応する縁部に載置される。

【 0 0 2 3 】

図 1 及び図 2 に示すように、開裂バンド 1 6 は、蓋 4 の上壁 1 0 と蓋 4 の前縁 2 4 との間に配置され、このようにして、上包 1 4 の上部 1 8 は蓋 4 よりも小さく、上包 1 4 の下部 1 7 もまた、蓋 4 の一部を覆って延びる（すなわち、蓋 4 を部分的に覆う）。このようにして、上包 1 4 の上部 1 8 のみが除去されると、開裂バンド 1 6 を引っ張ることによ

50

て、蓋 4 が上包 1 4 の下部 1 7 によってブロックされるので、蓋 4 を開くことは依然として不可能であり、その結果、たばこ箱 1 を最初に開口するとき、利用者は上包 1 4 の上部 1 8 だけでなく、上包 1 4 の下部 1 7 も除去することを余儀なくされ、したがって、それらは、上包 1 4 の部分 1 7 及び 1 8（すなわち、すべての上包 1 4）の両方を一緒に正しくリサイクルするために押される。

【 0 0 2 4 】

図 1 及び図 2 に示される好ましい実施形態によれば、開裂バンド 1 6 は蓋 4 の前縁 2 4 と重なり合ういかなる部分も有さないように、蓋 4 の前縁 2 4 よりも高く配置される。特に、開裂バンド 1 6 は蓋 4 の前縁 2 4 からゼロ以外の距離 D に配置され、好ましくは距離 D が少なくとも 2 mm に等しく、一般に 4 mm より大きい（一般に 4 mm ~ 8 mm の範囲）。

10

【 0 0 2 5 】

可能な実施形態によれば、開裂バンド 1 6 は、蓋 4 の前縁 2 4 よりも蓋 4 の上壁 1 0 の近くに配置される。

【 0 0 2 6 】

図 1 及び図 2 に示される可能な実施形態によれば、開裂バンド 1 6 は、ヒンジ 5 を跨ぐように配置される。図示されていない代替の実施形態によれば、開裂バンド 1 6 はヒンジ 5 と蓋 4 の前縁 2 4 との間に配置され、図示されていない追加の実施形態によれば、開裂バンド 1 6 は、蓋 4 の上壁 1 0 と蓋 4 の前縁 2 4 との間に配置される。

20

【 0 0 2 7 】

図 5 - 6 及び 9 - 1 0 に示されるものによれば、上包 1 4 の下部 1 7 は少なくとも 1 つの弱体化線 2 6 を有し、それは、それを引き裂くのを助け、下部 1 7 の上縁付近に生じ、下壁 6 に向かって延在し、可能な実施形態によれば、弱体化線 2 6 は下部 1 7 の上縁（すなわち、開裂バンド 1 6 の隣）で正確に始まることができ、弱体化線 2 6 は下部 1 7 の上縁を越えて始まることができ（すなわち、開裂バンド 1 6 の小片も含む）、すなわち、弱体化線 2 6 は下部 1 7 の上縁からわずかな距離（すなわち、開裂バンド 1 6 からわずかな距離）で始まることができる。

【 0 0 2 8 】

好ましいがまだ制限されていない実施形態によれば、弱体化線 2 6 は外側容器 2 の縦方向角部（前壁 7 と後壁 8 と 2 つの側壁 9 との間に画定される）に平行であり、あるいは、弱体化線 2 6 が外側容器 2 の縦方向角部に対してわずかに傾斜することができ、ジグザグの進行を有することもできる。

30

【 0 0 2 9 】

好ましい実施形態によれば、弱体化線 2 6 は包装用シート 1 5 を完全に貫通する少なくとも 1 つの貫通切断部からなり、すなわち、弱体化線 2 6 は単一の連続的な貫通切断部からなってもよく、又は、等しく離間された（すなわち、一方から他方へ一定の距離をおいて配置された）一連の貫通切断部（列）からなってもよい。

【 0 0 3 0 】

好ましい実施形態によれば、弱体化線 2 6 は（包装用シート 1 5 の 2 つの対向するフラップ 2 0 及び 2 1 の接合からなる）縦方向シール 2 2 の近くに配置され、その結果、弱体化線 2 6 は 2 つのフラップ 2 0 及び 2 1 が一緒にシールされる接合部分によって完全に囲まれ、このようにして、弱体化線 2 6 は内側の上包 1 4 を外部環境と連通させず、したがって、いずれの場合も、外部環境から完全にシールされたままである上包 1 4 のシールを確実にする。

40

【 0 0 3 1 】

好ましい実施形態によれば、縦方向シール 2 2 は内側に、2 つのフラップ 2 0、2 1 の間にいかなるシールもない中間領域 2 7 を有し、内側に、弱体化線 2 6 を含み、2 つのフラップ 2 0、2 1 が共にシールされる接合部分によって完全に囲まれる。中間領域 2 7 の機能はとりわけ、弱体化線 2 6 の上にシールを形成して、シールが弱体化線 2 6 を「閉じる」（すなわち、少なくとも部分的に、弱体化線 2 6 にまたがる包装材料の連続性を回復

50

する)ことを防止し、その機能性を排除することを回避することである。中間領域 27 の付加的な(二次的である)機能は上包 14 の下部 17 の破損を容易にするために、上包 14 の下部 17 の局所的な弱体化を増大させることである。

【0032】

1つの可能な実施形態によれば、中間領域 27 は横方向の延伸方向よりも大きい、すなわち、外側容器 2 の縦方向の角部(前壁 7 と後壁 8 と 2 つの側壁 9 との間に画定される)に平行な縦方向の延伸方向を有し、すなわち、中間領域 27 は、「幅」である「長さ」である。

【0033】

1つの可能な実施形態によれば、中間領域 27 は弱体化線 26 の縦方向延長部よりも大きい、すなわち、(前壁 7 と後壁 8 と 2 つの側壁 9 との間で画定される)外側容器 2 の縦方向角部に平行な縦方向延長部を有し、すなわち、中間領域 27 は上包 14 の下部 17 の局所的な弱体化を増加させるために、弱体化線よりも大きい。

10

【0034】

一般に、弱体化線 26 は包装用シート 15 の 2 つのフラップ 20 及び 21 の一方のみを含む、すなわち、弱体化線 26 は包装用シート 15 の内側のフラップ 20 上にのみ形成される(図 8 に示されるように)、すなわち、包装用シート 15 の外側のフラップ 21 にのみ形成される(図 7 に示されるように)。また、包装用シート 15 のフラップ 20 のみが、それらの間で分離して平行ないくつかの弱体化線 26 を有し、すなわち、包装用シート 15 のフラップ 21 のみが、互いに分離して平行ないくつかの弱体化線を有することも可能である。通常、包装用シート 15 のフラップ 20 及び 21 の両方に 2 つの異なる弱体化線 26 を形成することを回避して、包装用シート 15 のフラップ 20 及び 21 の両方に 2 つの異なる弱体化線 26 の任意の可能な重なり(構造公差の影響による偶発的な重なりのみを含む)が、上包 14 の内側を外部環境と連通させることを回避する。

20

【0035】

図示されていない可能な実施形態によれば、弱体化線 26 も、上包 14 の上部 18 の近くに形成され、上包 14 の下部 17 の近くに形成された弱体化線 26 と同じ構造を有する。明らかに、上包 14 の上部 18 にも形成された弱体化線 26 は開裂バンド 16 を弱体化し、したがって、開裂バンド 16 が引っ張られるときにそれに望ましくない破損を引き起こすことを回避するために、開裂バンド 16 の上に配置されなければならない(すなわち、限界的でない限り、開裂バンド 16 に影響を与えてはならない)。

30

【0036】

図 11 及び 12 に示す代替実施形態によれば、たばこ箱 1 はスライド開口部を有し、(図 1 ~ 4 に示す実施形態のように)もはや上に配置されていないが側部に配置された開放端を有する外側容器 2 を備え、さらに、たばこ箱 1 は、包装物 3 を収容する内側容器 28 を備え、内側容器 28 が外側容器 2 に完全に配置される閉鎖位置(図 11 に示す)と、内側容器 28 が外側容器 2 から部分的に抽出される開放位置(図 12 に示す)との間でスライドするように外側容器 2 内でスライドできるように収容される。

【0037】

図 11 及び図 12 に示すたばこ箱 1 の例では、いずれの場合も、たばこにアクセスできるように上包 14 を完全に排除する必要があること、すなわち、開裂バンド 16 の位置に関係なく、上包 14 の下部 17 と上包 14 の上部 18 の両方を排除してたばこにアクセスできるようにする必要があることは明らかである。

40

【0038】

図 11、図 13、及び図 14 に示される実施形態では開裂バンド 16 が上包 14 の 2 つの部分 17 及び 18 が(ほぼ)同じサイズを有するように(ほぼ)途中に配置され、他の実施形態によれば、開裂バンド 16 は図 11、図 13、及び図 14 に示されるものと比較して、より高く(上包 14 の下部 17 が上包 14 の上部 18 よりも大きくなるように)、又はさらに低く(上包 14 の下部 17 が上包 14 の上部 18 よりも小さくなるように)配置され得る。

50

【 0 0 3 9 】

明らかに、図 1 1、図 1 3、及び図 1 4 に示される実施形態では、上包 1 4 が上包 1 4 の上部 1 8 を除去した後に、上包 1 4 の下部 1 7 の除去も容易にするために、弱体化線 2 6（上述のように製造される、すなわち、縦方向シール 2 2 の中間領域 2 7 に配置される）を備える。

【 0 0 4 0 】

1 つの可能な実施形態によれば、上包 1 4 の下部 1 7 の迅速な除去をどのように進めるかを説明する（示す）表示（記号及び／又はテキスト）を、上包 1 4 上（すなわち、包装用シート 1 5 上）に印刷することができる。

【 0 0 4 1 】

本明細書に記載の実施形態は、本発明の保護範囲から逸脱することなく、それらの間で組み合わせることができる。

【 0 0 4 2 】

上述のたばこ箱 1 は、多数の利点を有する。

第 1 に、上述のたばこ箱 1 において、上包 1 4 の下部 1 7 の除去は弱体化線 2 6 の存在のおかげで簡単かつ迅速であり、これは、単に、弱体化線 2 6 において指で上包 1 4 を引っ張ることによって、上包 1 4 の下部 1 7 を容易に破断することを可能にする（上包 1 4 が熱収縮によって延伸されたときを含む）。この目的のために、巻き付けシート 1 5 の縦方向シール 2 2 内の弱体化線 2 6 の特定の位置決めのおかげで、弱体化線 2 6 の存在は、上包 1 4 のシールに影響を及ぼさず、いずれの場合も上包 1 4 は外部環境から完全にシールされたままであることを観察することが重要である。

【 0 0 4 3 】

さらに、上述のたばこ箱 1 は同様の既知のたばこ箱と比較して、製造するのが非常に簡単であり、その理由は、切削ユニット（すでに存在する）に、弱体化線 2 6 を作るための追加のブレードを挿入すること、及び縦方向シール 2 2 内に中間領域 2 7 を作り出すために溶接機の形状をわずかに変更することだけで十分だからである。

【 0 0 4 4 】

添付の図面に示す実施形態は紙巻きたばこ箱の製造を指すが、本発明は有意な変化なしに、喫煙商品の任意の他のタイプの箱（例えば、紙巻きたばこ箱、リキッドペープ式の電子たばこ箱、たばこ燃焼なしの新世代紙巻きたばこ箱）の製造に適用することができる。

【 符号の説明 】

【 0 0 4 5 】

- 1 たばこ箱
- 2 外側容器
- 3 包装物
- 4 蓋
- 5 ヒンジ
- 6 下壁
- 7 前壁
- 8 後壁
- 9 側壁
- 1 0 上壁
- 1 1 前壁
- 1 2 後壁
- 1 3 側壁
- 1 4 上包
- 1 5 包装用シート
- 1 6 開裂バンド
- 1 7 下部
- 1 8 上部

10

20

30

40

50

- 1 9 開始端
- 2 0 内側のフラップ
- 2 1 外側のフラップ
- 2 2 縦方向シール
- 2 3 横方向シール
- 2 4 前縁
- 2 5 側縁
- 2 6 弱体化線
- 2 7 中間領域
- 2 8 内側容器
- D 距離

【図面】

【図 1】

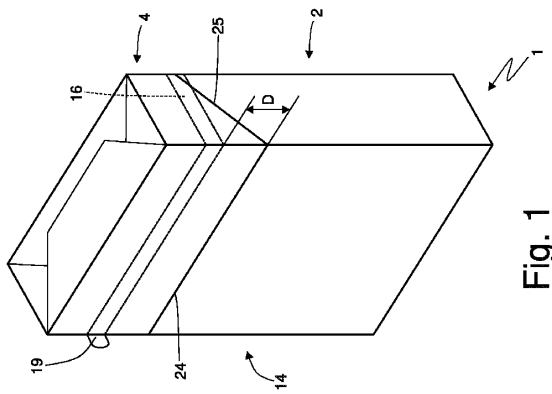


Fig. 1

【図 2】

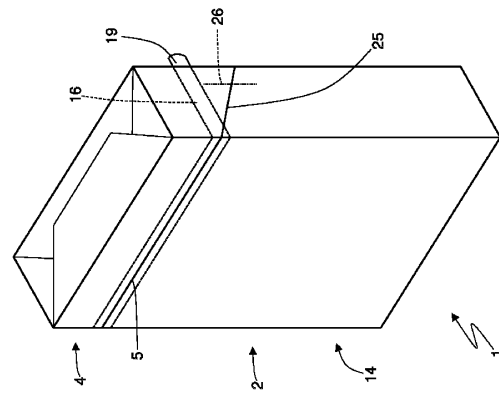


Fig. 2

【図 3】

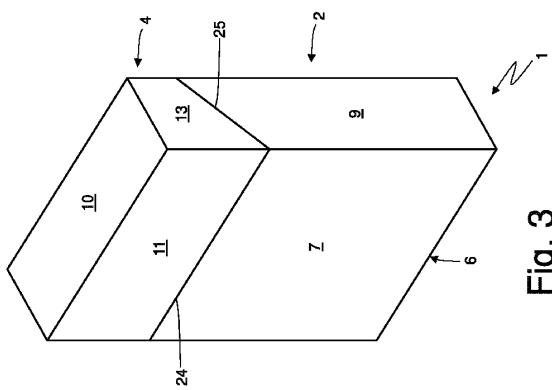


Fig. 3

【図 4】

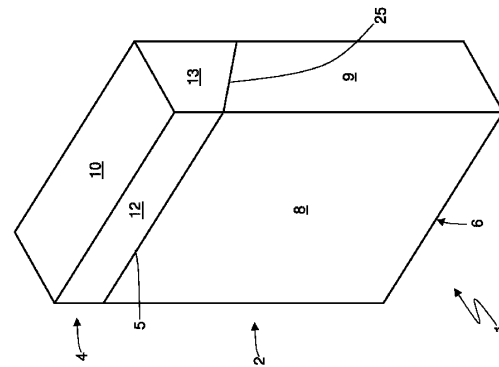


Fig. 4

10

20

30

40

50

【図 5】

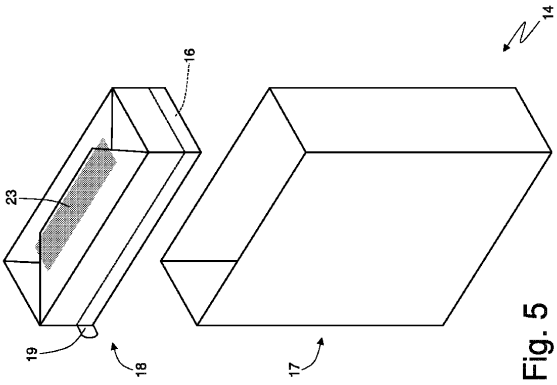


Fig. 5

【図 6】

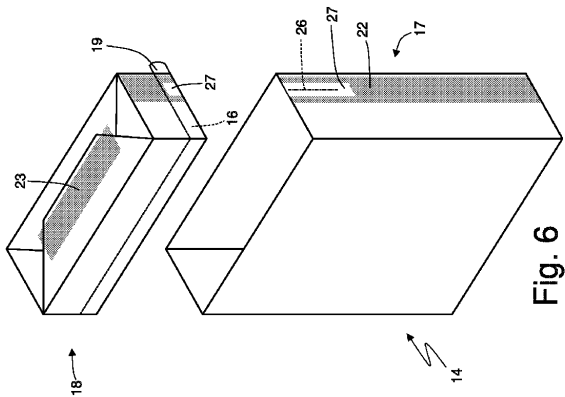


Fig. 6

【図 7】

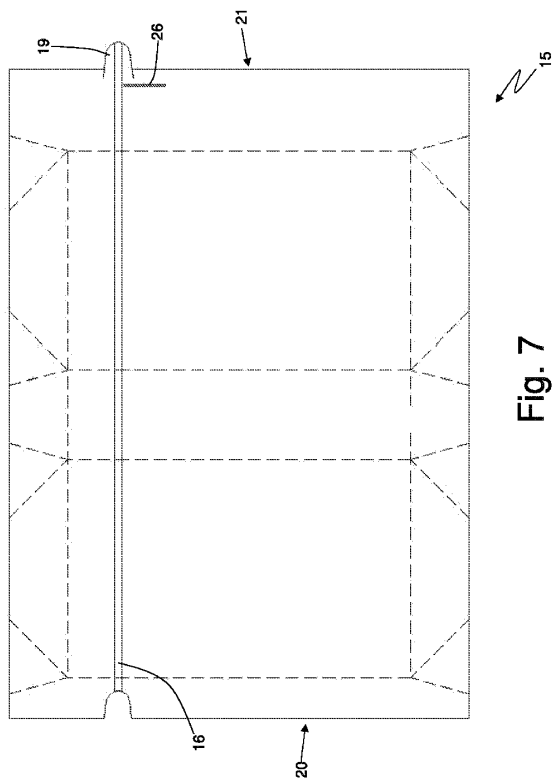


Fig. 7

【図 8】

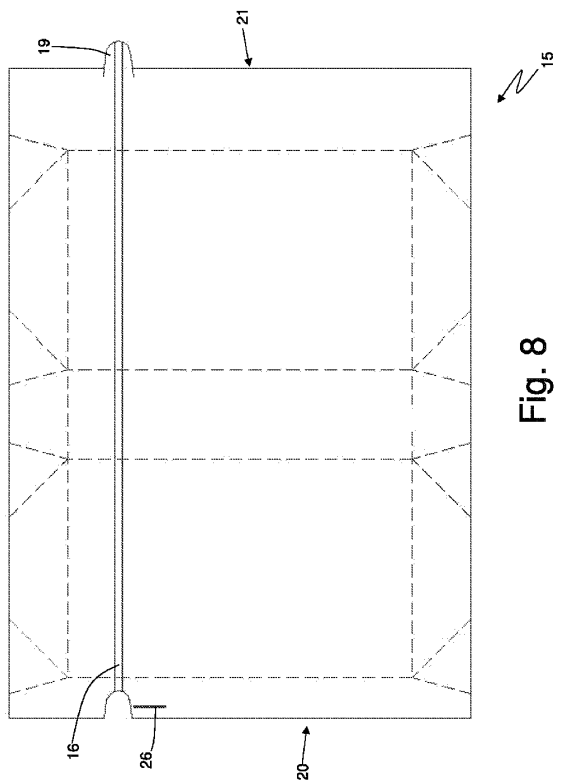


Fig. 8

10

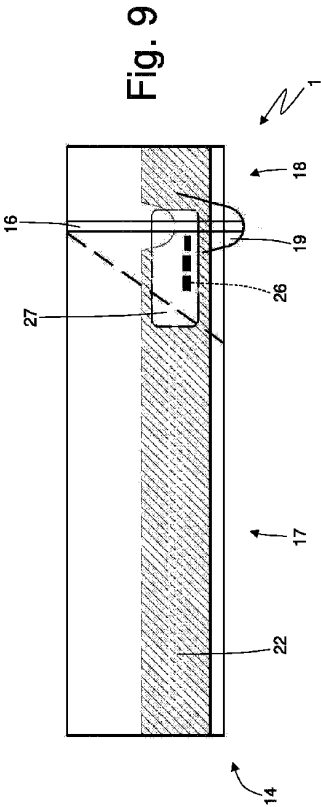
20

30

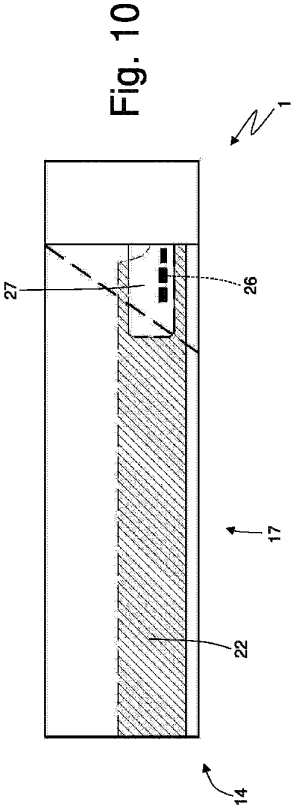
40

50

【図 9】



【図 10】



【図 11】

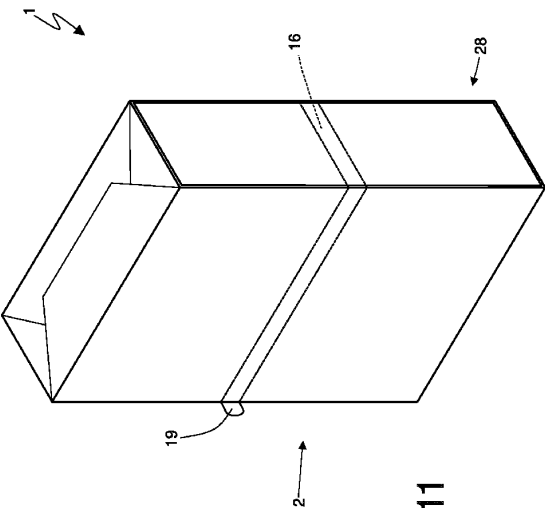


Fig. 11

【図 12】

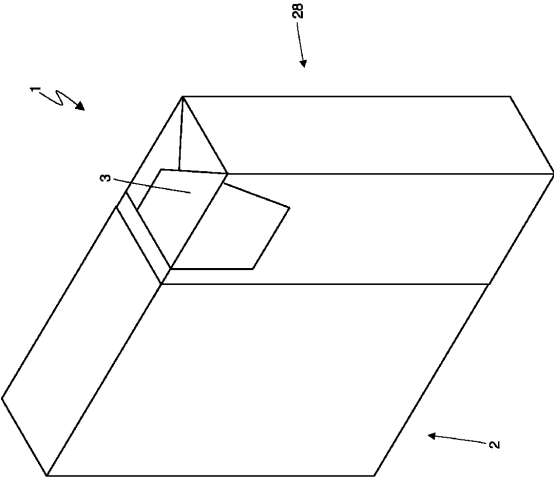


Fig. 12

10

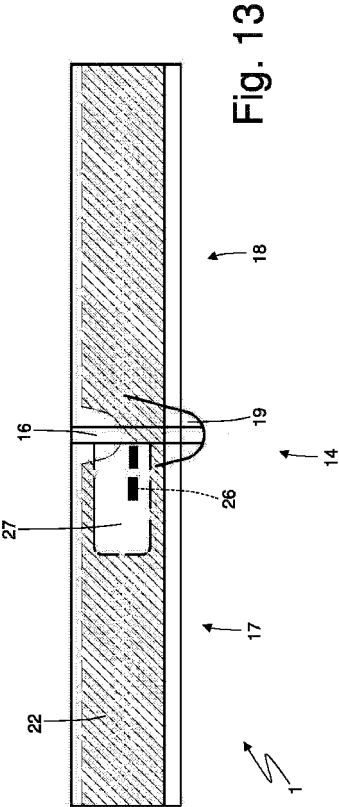
20

30

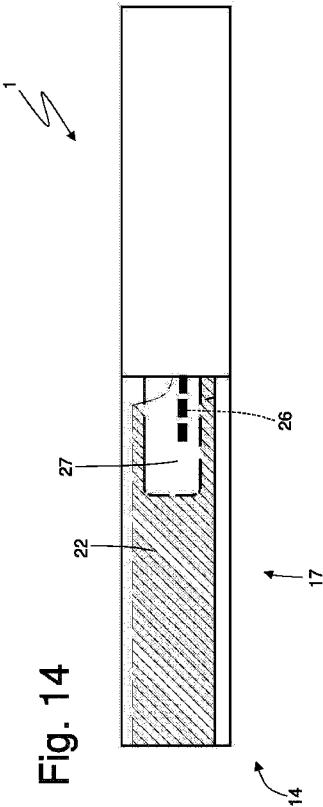
40

50

【図 1 3】



【図 1 4】



10

20

30

40

50

フロントページの続き

- 弁理士 森本 有一
- (72)発明者 アラン アルメニ
イタリア国, 4 0 1 3 3 ボローニャ, ピア バッティンダルノ, 9 1, チノ オジー・デー ソチ
エタ ペル アツィオニ
- (72)発明者 ジュリアーノ ガンベリーニ
イタリア国, 4 0 1 3 3 ボローニャ, ピア バッティンダルノ, 9 1, チノ オジー・デー ソチ
エタ ペル アツィオニ
- 審査官 宮崎 基樹
- (56)参考文献 実開昭 5 8 - 0 9 4 6 6 3 (J P , U)
特開 2 0 1 3 - 1 5 4 9 5 8 (J P , A)
欧州特許出願公開第 1 6 6 6 3 7 6 (E P , A 1)
国際公開第 0 3 / 0 7 2 4 5 5 (W O , A 1)
- (58)調査した分野 (Int.Cl., D B 名)
B 6 5 D 8 5 / 1 0
B 6 5 D 6 7 / 0 0 - 7 9 / 0 2